

「関西NBCニュービジネスアワード 2021」授賞者一覧

(順不同)

【アントレプレナー部門】

◆グランプリ / 近畿経済産業局長賞

対象事業:中高生向けオンライン 国際交流プログラム

会社名:株式会社 With The World

代表者:代表取締役 五十嵐 駿太(イガラシ シュンタ)

URL:<https://withtheworld.co/> E-mail: info@withtheworld.co

TEL:078-600-2294

会社設立:2018年4月、資本金:18,000千円、従業員数:4人、売上高:非公開

事業概要:

世界各地の中学、高校、大学間をオンラインで繋ぎ、各国の社会問題をディスカッションする授業と、実際に出会う相互訪問を提供。現在世界 60 カ国 410 校で導入実績があり、日本では 60 校で実施している。日時、回数、テーマは日本側が選定でき、時間通りに授業運びが可能。また、少人数グループに 1 人弊社スタッフが付き、議論・英語サポートを行い最初の一步を後押ししている。



◆部門賞

対象事業:切削加工業向け加工プログラミング完全自動化 AI

会社名:アルム株式会社

代表者:代表取締役 平山 京幸(ヒラヤマ タカユキ)

URL:<https://arumcode.com/> E-mail: fujisaku@arumcode.com、

TEL:076-225-7743

会社設立:2007年8月、資本金:18,000千円、従業員数:22人、

売上高:570,744千円

事業概要:

多品種少量生産の金属加工業界で製造コスト全体の 50 %を占める加工プログラミング工程を完全自動化する AI ソフトウェアを展開することで、業界全体が抱える人手不足の解消や生産性の向上に加え、直接製造原価の大幅低減により粗利をしっかりと確保できる工場経営を実現し、我が国中小製造業の DX を加速的に推進する。



◆部門賞

対象事業:中小製造業向け目視検査 AI サービス

会社名:株式会社フツパー

代表者:取締役 COO 黒瀬 康太(クロセ コウタ)

URL:<https://hutzper.com/> E-mail: info@hutzper.com

TEL:050-5832-6617

会社設立:2020年4月、資本金:58,500千円、従業員数:28人、

売上高:35,712千円

事業概要:

中小製造業のほとんどが人手不足であり、人のノウハウが必要な外観検査業務には特に課題が多い。この問題を解消するべく、外観検査用の画像認識 AI をエッジコンピュータに実装し、製造業の処理速度要求を満たし、かつ月額制でご提供することにより、初期投資を抑えながら人件費よりも安価に導入可能なサービスを提供している。



◆部門賞

対象事業: Mylc 細胞を使用した新規微生物混入試験の事業化

会社名: マイキャン・テクノロジーズ株式会社

代表者: 代表取締役 CEO 宮崎 和雄(ミヤザキ カズオ)

URL: <https://www.micantechologies.com/home-2>

E-mail: kmiyazaki@micantechologies.com

TEL 075-381-3008

会社設立: 2016年7月、資本金: 190,715千円、従業員数: 12人、

売上高: 17,101千円

事業概要:

医薬品などを製造する際に微生物汚染などの検査が法令で規定されている。そのため、微生物汚染検査市場がある(世界市場 900 億円強)。現在は、ウサギやカブトガニなど生物製剤を使用しており ESG の観点から代替法が望まれている。すでに欧州ではヒト血液由来の試験法が販売されているが、安定・継続面で課題がある。そこで、マイキャン社は再生医療の技術を活用した不死化血球細胞を用いて、大量・安価な試験法の事業化を実施する。



◆部門賞

対象事業: 人工脂肪を活用した乳房再建の実現

会社名: 株式会社レナートサイエンス

代表者: 代表取締役 長谷川 雪憲(ハセガワ ユキノリ)

URL: <http://www.renato.com>(現在、HP 作成中)、

E-mail: y.hasegawa@ep-association.com TEL: 090-3274-1696

会社設立: 2021年8月、資本金: 2,000千円、従業員数: 一、売上高: 一

事業概要:

乳がん切除後乳房再建は、自家複合組織移植、シリコンインプラント埋入のいずれかで行われている。自家組織採取では手術侵襲等、インプラントでは悪性リンパ腫等の発生が課題である。本プロジェクトでは、数年かけて生体内で分解吸収され自家脂肪に置換される低侵襲・整容的にも優れた人工脂肪を乳房再建・豊胸手術市場で世界初の人工脂肪の新規医療機器として、実用化を目指す。



【ビジネスプラン部門】

◆最優秀賞

対象事業:ダチョウ頸動脈を用いた下肢血行再建用小口径人工血管の開発

チーム名:人工血管

氏名:山岡 哲二(ヤマオカ テツジ) 他1名

国立循環器病研究センター研究所 生体医工学部

E-mail: yamtet@ncvc.go.jp

事業概要:

糖尿病等による下肢動脈の狭窄や閉塞に適応できる人工血管は実用化されておらず、下肢切断を余儀なくされる。本プロジェクトでは、独自に開発した血管内膜再生技術にもとづいて世界初の実用化可能サイズ(内径2-4mm、長さ30cm以上)のダチョウ頸動脈由来小口径血管を提供することで生活の質の向上に貢献する。



◆部門賞

対象事業:みんなに優しい♪ 頑張らない系環境サービス

チーム名:Sirvein (サヴェイン)

氏名:川崎 由紀子(カワサキ ユキコ)

E-mail: sirvein.leaf@gmail.com

事業概要:

昨今では『SDGs』という代名詞を通じ、環境問題や自然の破壊/保全が度々クローズアップされているが、自然に関わることの少ないライフスタイルを送る人々には、自然環境問題はどこか他人事である。本プランは、スーパーに売っている野菜や果物のように購入者が自由に気になる地域の植物を使用した小物(独自ブランド『Sirvein』)を購入できる独自のECサイトでの販売を通じ、自然環境に関心の無い方でも気負わず自然環境保全に参画することが出来る、今までありそうで無かった新しい形の環境サービスである。



◆部門賞

対象事業:微量点眼デバイスで点眼困難者を救え

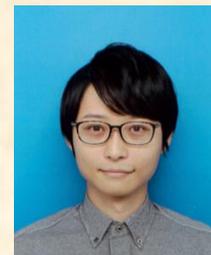
氏名:草桶 大輝(クサオケ ダイキ) 他1名

つばめ製薬 代表

E-mail: daiki.kusaoke@outlook.jp

事業概要:

江戸時代から、目薬とは「目に1滴たらす」医薬品であるということが常識とされてきた。一方で、身体機能や認知力が低下した高齢者にとって「目に1滴たらす」というのは非常に難しい作業である。誰にとっても使いやすい、目薬の常識がひっくり返る次世代点眼薬を開発する。



◆部門賞

対象事業:【誰もがワーケーションできる世界を】
旅行・観光業のコロナからの復興と持続可能な
地域・社会の未来を実現するイケてるワーケーション!

チーム名:IKETEL

氏名:松本 栄祐(マツモト エイスケ) 他3名
株式会社 IKETEL 代表取締役社長

E-mail: eisuke.matsumoto@iketel.co.jp

事業概要:

弊社は日本初、日本唯一のワーケーションに特化したサービス(ワーク環境整備/コンテンツコーディネート/コンサルティング etc.)を大阪から全国に展開していきます。日本にワーケーションができる環境と文化をつくり、ワーケーションの普及を通して、旅行・観光業のコロナからの復興と持続可能な地域・社会の未来の実現を目指します!



◆部門賞

対象事業: DIYAR(ダイヤー)

チーム名:チーム空島

氏名:楠本 悠真(クスモト ユウマ) 他2名
阪南大学 4年生

E-mail: gi18088@hannan-u.ac.jp

事業概要:

近年 DIY の需要が増えており、DIY を始めたいという人が多くいる。しかし、DIY には『上手にできる自信がない』『どうやって作るのかわからない』『仕上がりが完璧にならない』といった問題がある。本プランでは、スマートフォン利用できる AR アプリにより、(1)「DIY を行う前に DIY 完成品を設置したい箇所に AR 表示し、出来上がりの確認をしながら作りたいレシピを選んでもらう」、(2)選択されたレシピの作業を手順ごとに AR を用いた DIY 補助を行う」といった手順でこの問題を解決し、誰でも安心して DIY を行うことを可能にする。



【U-19 部門】※グランプリは2名となりました。

◆グランプリ

対象事業:おいしく無くそうフードロス
学 校 名:大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校
代 表 者:金 建熙 (キン ゴンヒ)



事業概要:
食品ロスは現在世界中で問題視されている。日本は年間 1,700 万トン、世界で見ると三番目に多くの食品ロスを出している。本プランでは飲食店などで販売しているものが廃棄され、食品ロスとなる前に、今売れ残っている食品が〇%オフの〇〇円で買えるという情報を多くの店から集め、開発したアプリに掲載することで近くに住む人々に購入してもらい、廃棄を未然に防ぐ。

◆グランプリ

対象事業: 学ぶ・作る・食べる の教室～低価格で子どもに食の学びを～
学 校 名: 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校
代 表 者: 小西 優莉香 (コニシ ユリカ)



事業概要:
小学生を対象に、放課後の小学校の調理室を使って、低価格で食事を提供する。子どもは食事するだけでなく、一緒に料理をしたり、食や買い物について学んだりすることができる。料理や知識を教えるのはボランティアと、調理系を学ぶ高・大学生や専門学校生。学校とも連携し、学生は授業の一環として来てもらう。また、低価格で行うことで、子ども食堂のような役割を担うこともできる。尚、小学校で行うが、市町村、小学校の教師に監督責任や負担のないよう運営する。

◆部門賞

対象事業: 高齢者と暮らすもん
学 校 名: 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校
代 表 者: 清水 章広 (シミズ アキヒロ)



事業概要:
現在、核家族、少子化、高齢化が社会問題となっている。高齢者の中には大きい家に住んでいるのに寂しく暮らしている人がおり、若者の中には給料が少なくて引っ越ししたくても出来ない人がいる。「高齢者と暮らすもん」は一人暮らしの寂しい高齢者が若者に家を安く貸して共に暮らすのを支援し、高齢者と若者をつなぎ合わせる社会を作る事業である。

◆部門賞

対象事業: らくちんキッチン
学 校 名: 関西学院千里国際高等部
チーム名: 食糧問題お助けし隊
代 表 者: 今里 愛 (イマザト アイ) 他4名



事業概要:
月額料金を払って(都度払い制もあり)シェアオフィスのようにキッチンシェアする「らくらくキッチン」の展開。社会人に「らくらくキッチン」というふれあいの場を提供する事で孤食が引き起こす様々な問題を防ぐ。また、「らくらくキッチン」が栄養や健康食について考える、もしくは生活習慣が改善するきっかけとなれば、生活習慣病に陥る心配もなくなり、自発的な「食育」にも繋がるという、一度で沢山の身の回りに溢れる食に関する問題を解決する事ができるビジネスプラン。